

2019年10月28日

各 位

セレサ川崎農業協同組合
株式会社ローソン銀行

共同ATMの設置について

～JAや信連が希望するJAバンクATM代替設置の全国第1号案件～

セレサ川崎農業協同組合（神奈川県川崎市、代表理事組合長 原 修一、以下「JAセレサ川崎」）と株式会社ローソン銀行（東京都品川区、代表取締役社長 山下 雅史、以下「ローソン銀行」）は、JAセレサ川崎が運営する大型農産物直売所（ファーマーズマーケット）「セレサモス麻生店」（神奈川県川崎市）内に共同ATM1台を設置し、2019年11月7日（木）開店時よりサービスを開始いたします。同農産物直売所内に設置されているJAバンクATMを置き換えて設置するものであり、ローソン銀行がJAバンクのATMを代替設置するのは今回が初めてです。

JAバンクとは、農業協同組合（以下「JA」）、信用農業協同組合連合会（以下「信連」）、農林中央金庫を会員として構成するグループの総称で、農業者などの組合員や地域利用者を対象に各種の金融サービスを提供するとともに、2019年3月末現在、全国に11,848台のATMを設置しています。2019年5月16日付の「JAバンクへの共同ATM設置にかかる農林中央金庫とローソン銀行との合意について」にてお知らせしたとおり、今年度より、JAや信連が希望するATMのローソン銀行ATMへの代替設置を進めております。今般、全国第1号案件として、JAセレサ川崎が運営する「セレサモス麻生店」内のJAバンクATM1台をローソン銀行ATMへ代替設置するものです。

11月7日（木）からサービスを開始する共同ATMは、JAバンクのキャッシュカードをお持ちのお客さまはJAバンクのコンビニエンスストア提携ATMとしてATMサービスをご利用いただけるとともに、他のローソン銀行ATMと同様、各銀行や信用金庫などを含む幅広い金融機関のカードをお持ちのお客さまもご利用いただけます。

JAセレサ川崎は、食農教育活動など地域の皆さまに「かわさき農業」に対する理解を深めていただく活動に取り組みながら、新鮮で安全・安心な農畜産物の供給と地域に密着した金融サービスの提供にも力を入れ、都市農業の振興と地域社会の発展に貢献してまいります。

ローソン銀行では、「私たちは“みんなと暮らすマチ”を幸せにします。」という企業理念のもと、マチという人の暮らしの場にご貢献する金融サービスの提供を目指しております。ローソン銀行ATMについてもさらなる利便性の向上に努め、「お客さまにいちばん近い銀行」の実現を目指してまいります。



ファーマーズマーケット「セレスモス麻生店」と店内に設置するローソン銀行 ATM（イメージ）

■セレス川崎農業協同組合概要

名 称	：	セレス川崎農業協同組合（略称：JA セレス川崎）
代 表 者	：	代表理事組合長 原 修一
本 店 所 在 地	：	神奈川県川崎市宮前区宮崎 2-13-38
出 資 金	：	25 億円（2019 年 3 月 31 日現在）
総 資 産	：	1 兆 6,525 億円（2019 年 3 月 31 日現在）
設 立	：	1997 年 10 月 1 日

■ローソン銀行概要

名 称	：	株式会社 ローソン銀行
代 表 者	：	代表取締役社長 山下 雅史
本 店 所 在 地	：	東京都品川区大崎 2-1-1 ThinkPark Tower
資 本 金	：	116 億円（2019 年 3 月 31 日現在）
総 資 産	：	3,856 億円（2019 年 3 月 31 日現在）
設 立	：	2016 年 11 月 25 日

以 上